

◆ 平成 26 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：NPO 法人 さいたま NPO センター

代表者：中村 陽一

URL : <http://www.sa-npo.org/>

1. 活動が必要とされた状況

地域の環境保全や保護、環境教育などを地道に実践している環境団体や個人は多いのですが、メンバーも固定化や高齢化し企画内容も変化のないものになってしまいます。活動を継続させるためには立場の違う人や団体を結び付け、魅力的な環境イベントやプログラムを企画・実践する人材を育てる必要があります。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

セミナーとフィールドワークの組み合わせによる参加型セミナーの開催。講師は全 4 回とも森良氏（エコ・コミュニケーション代表）が担当。計 12 名参加。

●第 1 回 3/7 (土) 午後、武蔵浦和コミュニティセンター第 7 集会室

「企画を立てるとは」のオリエンテーション、自分たちの団体の問題をあげて、課題を発見。活動をこれから始めようとする人は自分のやりたいことを明確にし、マインドマップづくりを行う。

●第 2 回 3/14(土)9:00~12:00、見沼たんぼ 加田屋地域

「見沼たんぼ」に行き成り立ちや自然環境などを「見沼たんぼ地域ガイドクラブ」から説明を受けて、協働によって実現できるイベント・プログラムの種を見つける。



くらしっく館集合（9:30 出発）→加田屋たんぼ→見沼自然公園→深井家長屋門→さぎ山記念公園（12:00 到着）

●第 3 回 3/ (14 土) 午後 さぎ山記念館 学習室

協働によって実現できるプログラム・イベントを立てる。問題の所在や課題の整理などのフローチャートづくりを行い、何を解決したいのかを明確にし、人々の要求にあったプログラムを考え、企画書を完成させる。

●第 4 回 3/21(土) 13:30~16:30 さいたま市民会館うらわ

企画をどう伝えるのか、参加者をどう集めるのか、当日進行のやり方、参加者からのフィードバックの集め方、評価や総括の視点について学ぶ。

3. 活動の成果

①団体、及び参加者が解決したい身近な環境保全や地域課題について、改めて認識することが出来た。

②参加団体、この取り組みを呼びかける過程において再度つながった団体の現状の課題（後継者不足や団体や地域をつなげるコーディネータの必要性など）も共有することが出来た。



4. 今後に残された課題

計画した広報予定先への案内、環境保全を目的とした団体への参加を呼びかけたが、目標の 20 名に対して、参加者が少なかった。イベントが重なるため連続講座への参加は難しいという声が多かったため、単発でも効果のある講座内容や実施時期について更なる工夫が必要があった。